

1 令和5年度事業計画変更案

(1) 令和5年度事業計画3～4ページについて、下記のとおり変更する。

(※ 変更箇所は下線のとおり)

変更前	変更後
<p><b>Ⅱ 各拠点事業計画</b></p> <p><b>1 産業振興センター</b></p> <p><b>(1) 産業振興センター関連事業</b></p> <p>産業振興センターの条例改正において、これまでクリエイティブ産業の振興を行ってきたインタークロス・クリエイティブ・センターについては、その機能が更に拡充され、「ハブ拠点」として、クリエイティブの活用にとまらず、広く企業の付加価値の向上を促進する場所として設定された。また、インキュベーション機能の強化として、産業振興センター内の貸事務室である、スタートアップ・プロジェクトルームとクリエイティブルームが統合され、新たに「入居スペース」として運用し、財団の持つ支援メニューを活用した企業支援を行うことが求められたところである。</p> <p>これらの機能見直しを踏まえ、産業振興センターの指定管理者として施設の管理運営はもとより、企業の付加価値向上に向けた取組として、企業の集客と交流につながるようなセミナーやイベント等を行う。入居スペースにおいては、3年間という限られた入居期間での事業化の達成や経営の安定化に繋げるため、新たな外部人材の登用などにより、その支援体制を強化する。施設を活用した各種セミナーについては継続して実施し、企業活動を支える人材の育成を支援するとともに、創業や企業の新たな事業分野への進出を促進する。併せて、コロナ禍によりニーズが拡大した、オンラインセミナー等の開催支援に係る事業を行う。</p>	<p><b>Ⅱ 各拠点事業計画</b></p> <p><b>1 産業振興センター</b></p> <p><b>(1) 産業振興センター関連事業</b></p> <p>産業振興センターの条例改正において、これまでクリエイティブ産業の振興を行ってきたインタークロス・クリエイティブ・センターについては、その機能が更に拡充され、「ハブ拠点」として、クリエイティブの活用にとまらず、広く企業の付加価値の向上を促進する場所として設定された。また、インキュベーション機能の強化として、産業振興センター内の貸事務室である、スタートアップ・プロジェクトルームとクリエイティブルームが統合され、新たに「入居スペース」として運用し、財団の持つ支援メニューを活用した企業支援を行うことが求められたところである。</p> <p>これらの機能見直しを踏まえ、産業振興センターの指定管理者として施設の管理運営はもとより、企業の付加価値向上に向けた取組として、企業の集客と交流につながるようなセミナーやイベント等を行う。入居スペースにおいては、3年間という限られた入居期間での事業化の達成や経営の安定化に繋げるため、新たな外部人材の登用などにより、その支援体制を強化する。施設を活用した各種セミナーについては継続して実施し、企業活動を支える人材の育成を支援するとともに、創業や企業の新たな事業分野への進出を促進する。併せて、コロナ禍によりニーズが拡大した、オンラインセミナー等の開催支援に係る事業を行う。</p>

また、北大ビジネス・スプリング（ビジネス・インキュベーション施設）入居者に対する支援も継続するほか、「STARTUP CITY SAPPORO」の事務局の一員として、スタートアップの創出支援にも取り組む。

## (2) 製品開発・販路拡大支援事業

食の製品開発においては、マーケットインの発想を取り入れ、北海道の農水畜産資源を単に原材料として提供する形態から、付加価値を付けて商品化し、販路を拡大する形態への転換を推進する。マーケティングに詳しいアドバイザーやブランディングに詳しいデザイナーなどを市内企業に派遣するほか、ターゲットとする市場のトレンドや競合品の情報を活用することを意識した伴走型支援を行い、企業の商品の開発や販売における課題の解決を図る。

これに加え、道産食品の人気の高いアジア諸国のほか、欧米など世界各地への輸出を促進するため、海外商取引において生じる各種課題に対して実効的な支援を行い、その課題解決を図るほか、輸出国に適合した食品の開発支援や競争力を高めるための食品認証取得支援を行う。

また、北大ビジネス・スプリング（ビジネス・インキュベーション施設）入居者に対する支援も継続する。

スタートアップ支援に関しては、「STARTUP CITY SAPPORO」の事務局の一員として、スタートアップの創出支援に取り組むほか、海外のスタートアップイベントへの出展支援体制等の整備や、市内のスタートアップ企業を始めとする民間事業者が様々な行政課題を解決していくオープンイノベーション推進事業を実施する。

加えて、市内企業の海外への事業展開のための取組を支援するほか、将来的に札幌を牽引する企業となることを目指す企業への集中的支援に関する事務局機能を担う。

## (2) 製品開発・販路拡大支援事業

食の製品開発においては、マーケットインの発想を取り入れ、北海道の農水畜産資源を単に原材料として提供する形態から、付加価値を付けて商品化し、販路を拡大する形態への転換を推進する。マーケティングに詳しいアドバイザーやブランディングに詳しいデザイナーなどを市内企業に派遣するほか、ターゲットとする市場のトレンドや競合品の情報を活用することを意識した伴走型支援を行い、企業の商品の開発や販売における課題の解決を図る。

これに加え、道産食品の人気の高いアジア諸国のほか、欧米など世界各地への輸出を促進するため、海外商取引において生じる各種課題に対して実効的な支援を行い、その課題解決を図るほか、輸出国に適合した食品の開発支援や競争力を高めるための食品認証取得支援を行う。また、道内の自治体や諸団体と「北海道の食」のネットワークを構築し、北海道の食産業の国内外への販路拡大を支援する。

また、「ヒト」「モノ」「カネ」といった経営資源が限られる市内の小規模ものづくり企業の製品開発・販路拡大を補助するほか、製品開発に関するアドバイザーの派遣などの支援を行い、市内のものづくり産業の振興を図る。

### (3) デザイン・コンテンツ関連事業

デザイン産業振興事業では、中小企業の課題の掘り起こしや企業の付加価値向上の手段としてデザインの活用を推進するため、企業課題の整理とデザイナー等をマッチングする機会を設けるとともに、デザイナーの成果事例によるコンペティションを開催する。

また、「映像活用推進プラン」に基づき、映像の力を活用して札幌の経済活性化と地域活性化を図るため、映像の作り手の創造力強化に資する人材育成支援や映像制作を補助するとともに、映像の使い手に対しても広告映像の活用を促すマッチングイベントなどを実施する。

これに加え、引き続きフィルムコミッション活動に取り組み、市民のシビックプライドの醸成やシティプロモーションの推進を図る。

また、「ヒト」「モノ」「カネ」といった経営資源が限られる市内の小規模ものづくり企業の製品開発・販路拡大を補助するほか、製品開発に関するアドバイザーの派遣などの支援を行い、市内のものづくり産業の振興を図る。

### (3) デザイン・コンテンツ関連事業

デザイン産業振興事業では、中小企業の課題の掘り起こしや企業の付加価値向上の手段としてデザインの活用を推進するため、企業課題の整理とデザイナー等をマッチングする機会を設けるとともに、デザイナーの成果事例によるコンペティションやデザイン経営の浸透を図るための連続セミナー等を開催する。

また、「映像活用推進プラン」に基づき、映像の力を活用して札幌の経済活性化と地域活性化を図るため、映像の作り手の創造力強化に資する人材育成支援や映像制作を補助するとともに、映像の使い手に対しても広告映像の活用を促すマッチングイベントなどを実施する。

これに加え、引き続きフィルムコミッション活動に取り組み、市民のシビックプライドの醸成やシティプロモーションの推進を図る。

所管事業	事業費・支出	所管事業	事業費・支出
産業振興センター管理運営事業	432,940 千円	産業振興センター管理運営事業	570,476 千円
中小企業経営セミナー等事業		中小企業経営セミナー等事業	
オンライン配信総合サポート事業		オンライン配信総合サポート事業	
北大ビジネスインキュベーション 支援事業		北大ビジネスインキュベーション 支援事業	
スタートアップ創出事業		スタートアップ創出事業	
		<u>海外展開支援事業費</u>	
		<u>未来牽引企業創出事業費</u>	
食の輸出力強化支援事業		食の輸出力強化支援事業	
		<u>道内連携販路拡大支援事業</u>	
プロダクトデザイナー派遣事業		プロダクトデザイナー派遣事業	
小規模企業向け製品開発・販路拡 大支援事業	小規模企業向け製品開発・販路拡 大支援事業		
デザイン産業振興事業	デザイン産業振興事業		
コンテンツ産業振興事業	コンテンツ産業振興事業		

(2) 令和5年度事業計画7ページ(令和5年度事業計画・目標一覧)産業振興センターの項を次のように修正する。

(※ 修正箇所は赤字のとおり。)

所管番号	事業名	令和5年度		支出予算額 (単位:千円)	(前年度 支出予算額)	令和4年度 (※ 令和5年度予算編成時点の見込み)		今後の方向性(概ね5年)
		事業計画	事業目標			事業実績	課題	
<b>産業振興センター</b>				<b>570,476</b>	<b>(490,986)</b>			
<b>■産業振興センター関連事業</b>				<b>329,236</b>	<b>(168,247)</b>			
1	産業振興センター管理運営事業 【札幌市受託事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興センター(セミナールーム等)の利用促進</li> <li>入居スペース入居者の発掘</li> <li>入居スペース入居者への経営相談の充実</li> <li>ハブ拠点における企業の高付加価値に資する交流・連携促進を図る取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナールーム稼働率:80%以上</li> <li>利用者アンケートでの満足度:90%以上</li> <li>入居スペースの入居率:80%以上</li> <li>ハブ拠点の利用者数:月平均600人</li> <li>企業の交流や連携を促進するイベントの実施回数:30回</li> </ul>	164,802	(114,191)	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナールーム稼働率:66%</li> <li>利用者アンケート満足度:87%</li> <li>スタートアップ・プロジェクトルーム入居率:94%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナールーム稼働率向上</li> <li>入居率の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌の産業振興拠点としての機能発揮</li> <li>地域を代表するような企業の輩出</li> <li>他部署との連携による広報展開</li> </ul>
	ICC施設管理運営事業 【札幌市受託事業】	(令和5年度から「産業振興センター施設管理業務」に統合)				(28,976)	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリエイティブルーム入居者やプロジェクトメンバー間のコミュニケーション活性化を図るイベント:6回</li> <li>クリエイターと他産業企業がともに参加するイベントの開催:3回</li> <li>情報発信スペースを活用したデザインやコンテンツを展示する企画の実施:4回</li> <li>クリエイティブルーム入居率:82.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業間連携に繋がる交流のあり方の確立</li> <li>入居者への体系的支援の整備</li> <li>(旧クリエイティブルーム)長期入居者への支援のあり方</li> </ul>
2	中小企業経営セミナー等事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入社員、中堅社員、管理職、経営層を対象とした階層別研修の開催</li> <li>事業承継やDXなどテーマ別研修の開催</li> <li>起業道場やソーシャルビジネススクールなど創業セミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成セミナー(階層別研修):21回</li> <li>経営課題解決セミナー(テーマ別研修):21回</li> <li>創業セミナー:22回</li> </ul>	19,499	(17,932)	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業塾等:9回、延210名参加</li> <li>起業道場等:2期(10回)、延39名参加</li> <li>起業志望者向け講座:5回、延191名参加</li> <li>経営者向けセミナー等:18回、延481名参加</li> <li>人材育成セミナー:16回、延290名参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業者向けセミナー受講生の入居スペースへの入居</li> <li>支援センターとの連携による創業者向けセミナー受講生へのフォローアップ</li> <li>企業ニーズの掘り起こし、ニーズの高いセミナーの拡大</li> <li>経済環境が変化する中、時代に即したテーマ別セミナーの展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他部署と連携した広報展開</li> <li>セミナーと各部署の支援事業との連動、「サッポロビジネスハブ」への誘客</li> <li>創業及び新たな事業分野への進出の促進</li> <li>企業活動を支える人材の育成による企業経営力の強化</li> </ul>
3	オンライン配信総合サポート事業 【財団自主事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインセミナーの開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインセミナー開催支援:25回</li> </ul>	1,609	(2,173)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインセミナー開催支援:50回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報強化による利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体、支援機関との連携による情報発信</li> </ul>
4	北大ビジネスインキュベーション支援事業 【札幌市受託事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>北大BS入居企業に対する経営支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インキュベーションマネージャー派遣:1名</li> <li>経営アドバイス、マッチング件数:80件</li> <li>情報提供件数:1,000件</li> </ul>	5,790	(4,975)	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営アドバイス、マッチング件数:126件</li> <li>情報提供件数:940件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>潜在的な入居企業の発掘</li> <li>時代に即した入居者支援の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居企業の成長による市内の新産業発展</li> </ul>
5	スタートアップ創出事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタートアップの海外展開に向けた啓発イベントの開催</li> <li>海外の起業家や投資家の誘致拡大を図るスタートアップピザの発給促進</li> <li>海外のスタートアップイベントへの出展支援体制等の整備や、市内のスタートアップ企業を始めとする民間事業者が様々な行政課題を解決していくオープンイノベーション推進事業を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外スタートアップショーケースウェビナー:5回</li> <li>スタートアップピザ取得者数:23件</li> <li>海外スタートアップカンファレンスへの参加・出展:4回</li> <li>スタートアップと各自治体の協業モデル:10件</li> </ul>	59,500	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外スタートアップショーケースウェビナー:5回、延631名参加</li> <li>スタートアップピザ取得者数:14件/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルレベルで成功するスタートアップ企業の創出</li> <li>道内の行政・企業・大学によるオープンイノベーションの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌・北海道の新産業発展につながるスタートアップ企業の創出</li> </ul>
6	海外展開支援事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業の海外への事業展開のための取組の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポット型相談件数:7件</li> <li>事業計画策定支援件数:25件</li> <li>商談獲得支援:25件</li> </ul>	50,000	-	(令和5年度新規事業(補正))		
7	未来牽引企業創出事業 【札幌市委託事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来的に「札幌を牽引する企業」となることを目指す企業に対して集中的な支援を行うための事務局機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査会の運営(認定20社)</li> <li>事業周知及び認定企業のコミュニティ形成に関するイベント開催:3回</li> </ul>	28,036	-	(令和5年度新規事業(補正))		

所管 番号	事業名	令和5年度		支出予算額 (前年度 支出予算額)	令和4年度 (※ 令和5年度予算編成時点の見込み)		今後の方向性(概ね5年)	
		事業計画	事業目標		事業実績	課題		
■販路拡大支援事業				122,440	(195,339)			
8	食の輸出力強化支援事業 【札幌市補助事業】 (食品開発支援事業、食品販路拡大支援事業、食品認証取得支援事業が統合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮の社会的ニーズに対応した商品開発の支援</li> <li>国際水準の食品衛生管理認証取得の促進</li> <li>国内外への販路拡大支援</li> <li>専門家の派遣による課題解決支援</li> <li>財団コーディネーターによる企業課題の把握や支援メニューの提案</li> <li>国際競争力強化に向けた啓蒙・情報提供</li> <li>世界の食品データベースを活用した情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した新商品開発向けの補助：300万円×10件</li> <li>食品の品質・衛生管理の認証取得向けの補助：200万円×7件</li> <li>国内・海外商談会の開催：8件</li> <li>展示会への出展支援：2件</li> <li>国内外商談支援による成約目標額：110百万円</li> <li>市内食関連事業者への専門家派遣：15件</li> <li>コーディネーター企業訪問：450件</li> <li>セミナー・勉強会等開催：2回</li> <li>データベース情報提供件数：50件</li> </ul>	93,000	-	(令和5年度新規事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮などの世界の食トレンドを見据えたマーケットインの商品開発・販売促進の啓蒙・啓発</li> <li>北海道ブランドの維持、育成</li> <li>具体的なテーマ設定に基づく国内商談会の開催及びアジア圏以外の新規海外販路開拓</li> <li>認証取得による企業付加価値向上と競争力強化支援</li> <li>国内外への販路拡大を目的とした国際競争力強化に資する情報発信</li> <li>専門家の活用、データ活用をはじめとする、国内外への販路拡大における様々な課題に対応できる支援体制の確立</li> </ul>	
9	食品開発支援事業 【札幌市補助事業】	(令和5年度から「食の輸出力強化支援事業」へ再構築)		-	(55,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【国内向け食品開発】</li> <li>食品開発向け補助金：5件</li> <li>コーディネーター及び流通企業バイヤーによる商品開発過程のアドバイス：アドバイザー派遣：19回</li> <li>食品認証等の啓発イベントの開催：1回</li> <li>【海外向け食品開発】</li> <li>輸出仕様食品開発向け補助金：9件</li> <li>コーディネーター及び現地専門家による商品開発過程のアドバイス</li> <li>セミナー、勉強会等の開催：2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の豊水畜産資源を「原料」として供給する形態から、「商品」化し付加価値をつけて製造・販売する形態への構造転換＝マーケットイン思考の商品開発に向けた「マーケティング」の重要性</li> <li>市場ニーズ(マーケティング)や販路(販売戦略)を踏まえた持続的に商業流通可能な商品開発への誘導</li> </ul>	-
10	食品販路拡大促進事業 【札幌市補助事業】	(令和5年度から「食の輸出力強化支援事業」へ再構築)		-	(41,402)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【国内販路拡大】</li> <li>国内セミナー、勉強会等の開催：1件</li> <li>国内商談会開催：開催5回92社参加</li> <li>国内販促支援：3回18社参加</li> <li>国内展示商談会等による支援：4回</li> <li>国内展示商談会等への出展支援：展示会4回(出展52社) 展示商談会(出展6社)</li> <li>【海外販路拡大】</li> <li>海外向け商談会(マレーシア、台湾、香港ほか)開催：4回100社参加</li> <li>台湾TVショッピング販売支援：10社</li> <li>マレーシア北海道フェア開催：1回</li> <li>財団コーディネーターによる相談対応、販路マッチング100件</li> <li>海外向け商談支援による輸出額：80,000千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【国内販路拡大】</li> <li>全国流通への物流コスト高と物流の採算性及び継続性</li> <li>仕向地ごとのマーケットに即した戦略的な販路開拓、商流構築</li> <li>マーケティングによる市場需要に則した販売促進の営業力</li> <li>流通企業とのマッチング機会を有効的に活用する企業の積極性</li> <li>【海外販路拡大】</li> <li>輸出志向企業の発掘</li> <li>海外提案の前提となる基本的貿易知識の習得</li> <li>海外に対する商品提案力及び企業PR力の向上</li> <li>海外向け新規商流の構築</li> </ul>	-
11	食品認証取得支援事業 【札幌市補助事業】	(令和5年度から「食の輸出力強化支援事業」へ再構築)		-	(20,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>認証取得のための補助：5件</li> <li>認証取得に係る情報発信・啓蒙啓蒙等のセミナー、成果発表会の開催：1回</li> <li>HACCP講習会の開催：6回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令化されたHACCP制度や流通企業の品質管理の取組に対応するための、メーカー側への取組意識の向上及び啓蒙</li> <li>各企業の取組に対する経営資源不足(人・金・もの・工場キャパシティ)：今後規模の小さな企業が対象になることが想定され、事前の専門家派遣による案件掘起しへの検討が必要</li> </ul>	-
12	台湾食品海外コーディネート事業 【札幌市補助事業】	(令和4年度で事業終了)		-	(4,500)	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾食関連市場に関する調査・報告：4件</li> <li>販路拡大に関する現地商談マッチング及び商談支援：73件</li> <li>台湾食品輸出セミナー：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規台湾進出企業及び輸出志向企業の発掘</li> <li>台湾向け提案の前提となる基本的貿易知識及び輸出規制の習得</li> <li>台湾向け新規商流の構築</li> </ul>	-
13	西日本新規市場販路開拓・拡大促進事業 【国補助事業】	(令和4年度で事業終了)		-	(43,537)	<ul style="list-style-type: none"> <li>参画企業40社</li> <li>デザイン及びマーケティングセミナーの実施</li> <li>デザインアドバイザー及びマーケティングアドバイザーによる課題ヒアリング及びコーチング並びに商談会・相談会後のフォローアップ</li> <li>現役バイヤーとのブラッシュアップ相談会の実施：187件</li> <li>大規模展示商談会への出展支援：商談件数887件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業や商品自体のブランディング力、マーケティングの分析力、営業力、時代の変化に対応できる柔軟性について、その重要性を企業に伝えきれていない</li> </ul>	-

所管 番号	事業名	令和5年度		支出予算額 (前年度 支出予算額)	令和4年度 (※ 令和5年度予算編成時点の見込み)		今後の方向性(概ね5年)	
		事業計画	事業目標		事業実績	課題		
14	道内連携販路拡大支援事業 【財団自主事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道内の自治体及び諸団体等と連携した「北海道の食」のネットワーク構築</li> <li>北海道の食品産業における国内・海外販路拡大支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内商談会開催：5回</li> <li>海外販路拡大支援：道内企業10社程度</li> </ul>	500	-	(令和5年度新規事業(補正))	<ul style="list-style-type: none"> <li>「北海道の食」コンテンツのブラッシュアップ</li> <li>食の販路拡大に向けた道内自治体及び諸団体との連携強化</li> </ul>	
15	プロダクトデザイナー派遣事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり企業の経営課題の把握と支援メニューの提案</li> <li>マーケティングを意識した製品開発をテーマとした普及啓発イベントの開催</li> <li>デザイン戦略を導入した製品開発への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財団コーディネーターによるヒアリング及び外部アドバイザーの派遣 10社程度</li> <li>ものづくりセミナー：1回</li> <li>製品開発ワークショップの開催 5~10社程度</li> <li>プロダクトデザイナーによるデザイン支援 2社程度</li> </ul>	3,600	(5,400)	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品開発プロデューサーによるお悩み相談：5社</li> <li>製品開発プロデューサー及びアドバイザーによる支援(専門家派遣)：3社</li> <li>ビジネスEXPOへの出展：79名来訪</li> <li>ものづくりセミナーの開催：1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題が見えていない企業に対する本事業の周知とアプローチ</li> <li>企業においてはプロダクトアウトの思考が先行し、作ることが目的化</li> <li>市内ものづくり産業においては下請け依存度が高いため、デザイン戦略への意識が希薄</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を見える化し、自社の強みを整理した上での事業計画策定</li> <li>社会実装できる商品を開発できる社内体制の構築。必要に応じた外部専門家の活用</li> <li>体験(使用)価値を向上させた価格競争に陥らない製品づくり</li> </ul>
16	小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模ものづくり企業の製品開発等に対する補助金の交付</li> <li>ものづくり企業における経営課題の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品開発や販路拡大向けの補助：200万円 x 10件</li> <li>財団コーディネーターによる企業訪問：120件</li> </ul>	25,340	(25,500)	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品開発等のための補助：10件採択</li> <li>採択先・過去採択先へのハンズオン支援</li> <li>ものづくり企業等への訪問：143件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内ものづくり関連企業の革新的な新製品・新技術の開発意欲のある企業発掘</li> <li>小規模企業の経営資源上(人・金・もの)の課題による新製品開発への取組み制限</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小規模企業が持つニッチでオンラインのシーズをニーズ、ウォンツに昇華し、魅力ある企業への成長を促進</li> <li>地域課題の解決、市民生活の向上に寄与する市場性の高い製品の開発</li> </ul>
■映像・クリエイティブ関連事業				118,800	(127,400)			
17	デザイン産業振興事業 (旧クリエイティブ産業振興事業) 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業のデザイン活用を促進する啓発イベントの実施</li> <li>企業課題の掘り起こしからクリエイターとのマッチングまでを実施するマッチングイベント等の開催</li> <li>札幌アートディレクターズクラブ(SADC)などデザイン関係団体との連携推進</li> <li>クリエイターと他産業企業の連携による製品</li> <li>サービスの高付加価値化を目的とした補助事業の実施</li> <li>デザイン経営の浸透を図るための連続セミナー等の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン経営やデザイン思考をテーマとしたセミナーの開催：5回</li> <li>企業とデザイナーのマッチング件数 5件</li> <li>デザイン関係団体が開催するイベントの開催誘致：3件</li> <li>連続セミナー等に参加してデザイン経営を学んだ企業数：10社</li> </ul>	27,500	(22,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デザインコンペをきっかけとしたブランディングや広告宣伝を対象とした補助金の交付：3件</li> <li>「デザイン思考」を学ぶセミナーやワークショップの開催：3回</li> <li>若手クリエイター(学生を含む)の人材育成に資する取組：2回</li> <li>クリエイターが創出する新商品・新サービス：1件</li> <li>クリエイターやその他産業の企業を対象にしたセミナーの開催：5回</li> <li>コーディネーターによるクリエイターと他産業の連携マッチング事例件数：3件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「デザイン経営」の概念を分かりやすく説明し、市内企業への浸透を図る。</li> <li>他産業におけるクリエイティブ活用の意欲向上</li> <li>クリエイティブ企業と他産業企業のコンタクト機会の創出</li> <li>企業の付加価値向上に貢献することができるクリエイターやデザイナー(クリエイティブディレクター)の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業に「デザイン経営」の浸透を図り、企業とクリエイターの連携を通じた付加価値の向上</li> <li>ビジネスを深く理解するクリエイターやデザイナーの育成</li> <li>産業振興センターをデザインやコンテンツの発信拠点としてのポジション確立</li> </ul>
18	コンテンツ産業振興事業 (旧映像産業振興事業) 【札幌市補助事業】	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ関連企業への人材供給力を高める啓発イベントの実施</li> <li>企業の映像活用を促進する啓発イベントの実施</li> <li>企業ブランディングや札幌の魅力発信に係る映像制作を対象とした補助金の交付</li> <li>シティプロモーションの推進やシビックプライドの向上を目指す映画・ドラマのロケ誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生等を対象としたCG制作ワークショップ等の参加者数：延べ1,000人</li> <li>映像活用による企業の付加価値向上を目指す普及啓発セミナーやマッチングイベントの開催：5回</li> <li>映像作品補助金の利用件数：14件</li> <li>ボランティアエキストラの登録者数：4,000人</li> </ul>	91,300	(105,400)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CGインターンシップ：217人</li> <li>ドキュメンタリー制作講座：275人</li> <li>アニメ制作ワークショップ：19人</li> <li>映像活用マッチング件数：10件</li> <li>映像活用補助金 地域資源映像化：2件 札幌クリエイター映像：3件 プロモーション・ブランド映像：8件</li> <li>ボランティアエキストラ：3,910人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツ業界を目指す学生の首都圏への人材流出防止</li> <li>企業のブランディングやプロモーション映像の活用促進</li> <li>下請型受注構造からの脱却</li> <li>シティプロモーションの促進やシビックプライドの向上に繋がる作品の誘致活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アニメ、CG、広告映像などの成長分野での雇用拡大</li> <li>企業課題の解決手法としての映像活用の推進</li> <li>地域の映像クリエイターのオリジナル作品の制作意欲の向上</li> <li>関係機関との連携による誘致活動やロケ支援を通じて、シビックプライドの向上やシティプロモーションの推進</li> </ul>

2 令和5年度第1次収支補正予算案

令和5年度 収支補正予算書(案)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

項 目	法人会計配賦前			備 考
	補正後予算額 ア	当初予算額 イ	今回補正額 ア-イ	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産受取利息	1	1	0	
産業振興センター事業収益	567,638	427,638	140,000	
産業振興センター関連事業収益	325,898	195,898	130,000	
産業振興センター管理運営事業収益	158,609	158,609	0	
IC施設管理運営事業収益				令和5年度から産業振興センター管理運営事業に統合
中小企業経営セミナー等事業収益	19,499	19,499	0	
オンライン配信総合サポート事業収益	2,500	2,500	0	
北大ビジネスインキュベーション支援事業収益	5,790	5,790	0	
スタートアップ創出事業収益	59,500	9,500	50,000	今回補正事業
海外展開支援事業収益	50,000		50,000	今回補正事業
未来牽引企業創出事業収益	30,000		30,000	今回補正事業
販路拡大支援事業収益	122,940	121,940	1,000	
食の輸出力強化支援事業収益	93,000	93,000	0	
食品開発支援事業収益				令和5年度から食の輸出力強化支援事業に統合
食品販路拡大促進事業収益				令和5年度から食の輸出力強化支援事業に統合
食品認証取得支援事業収益				令和5年度から食の輸出力強化支援事業に統合
台湾食品海外コーディネート事業収益				令和4年度で事業終了
西日本新規市場販路開拓・拡大促進事業収益				令和4年度で事業終了
道内連携販路拡大支援事業収益	1,000		1,000	今回補正事業
プロダクトデザイナー派遣事業収益	3,600	3,600	0	
小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業収益	25,340	25,340	0	
映像・クリエイティブ関連事業収益	118,800	109,800	9,000	
デザイン産業振興事業収益	27,500	18,500	9,000	今回補正事業
コンテンツ産業振興事業収益	91,300	91,300	0	
中小企業支援センター事業収益	67,430	67,430	0	
中小企業支援センター事業収益	67,430	67,430	0	
エレクトロニクスセンター事業収益	355,634	355,634	0	
エレクトロニクスセンター管理運営事業収益	73,266	73,266	0	
技術開発室支援事業収益	78,659	78,659	0	
IT・イノベーション推進事業収益	93,300	93,300	0	
IoT推進コンソーシアム事業収益				令和5年度からIT・イノベーション推進事業に移行
中小企業DX推進事業収益	48,850	48,850	0	
IT人材確保育成事業収益	13,000	13,000	0	
xR普及促進支援事業収益				令和4年度で事業終了
ICT活用プラットフォーム関連事業収益	20,820	20,820	0	
ICT活用プラットフォーム機能拡充事業収益	13,417	13,417	0	
札幌市データ活用プラットフォーム構築事業収益				令和4年度で事業終了
札幌テクノパーク・リノベーション推進事業収益	14,322	14,322	0	
財団プロジェクト推進事業費収益	0	0	0	
財団プロジェクト推進事業収益				
管理費収益	44,994	44,994	0	
本部管理費収益	44,994	44,994	0	
雑収益	3,469	3,469	0	
雑収益	3,469	3,469	0	
経常収益 計	1,039,166	899,166	140,000	

受取補助金等は各事業の収益に含めて表している。

なお、受取補助金等の額は次のとおり。

- ・ 受取地方公共団体補助金 578,250
- ・ 受取国庫補助金振替額 6,885
- ・ 受取地方公共団体補助金振替額 7,437
- ・ 受取民間補助金振替額 13,417

(単位：千円)

事業	法人会計配賦前			備考
	補正後予算額	当初予算額	今回補正額	
	ア	イ	ア-イ	
(2) 経常費用				
産業振興センター事業費	570,476	432,940	137,536	
産業振興センター関連事業費	329,236	201,200	128,036	
産業振興センター管理運営事業費	164,802	164,802	0	
ICC施設管理運営事業費			0	令和5年度から産業振興センター管理運営事業に統合
中小企業経営セミナー等事業費	19,499	19,499	0	
オンライン配信総合サポート事業費	1,609	1,609	0	
北大ビジネスインキュベーション支援事業費	5,790	5,790	0	
スタートアップ創出事業費	59,500	9,500	50,000	今回補正事業
海外展開支援事業費	50,000		50,000	今回補正事業
未来牽引企業創出事業費	28,036		28,036	今回補正事業
販路拡大支援事業費	122,440	121,940	500	
食の輸出力強化支援事業費	93,000	93,000	0	
食品開発支援事業費			0	令和5年度から食の輸出力強化支援事業に統合
食品販路拡大促進事業費			0	令和5年度から食の輸出力強化支援事業に統合
食品認証取得支援事業費			0	令和5年度から食の輸出力強化支援事業に統合
台湾食品海外コーディネーター事業費			0	令和4年度で事業終了
西日本新規市場販路開拓・拡大促進事業費			0	令和4年度で事業終了
道内連携販路拡大支援事業費	500		500	今回補正事業
プロダクトデザイナー派遣事業費	3,600	3,600	0	
小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業費	25,340	25,340	0	
映像・クリエイティブ関連事業費	118,800	109,800	9,000	
デザイン産業振興事業費	27,500	18,500	9,000	今回補正事業
コンテンツ産業振興事業費	91,300	91,300	0	
中小企業支援センター事業費	67,027	67,027	0	
中小企業支援センター事業費	67,027	67,027	0	
エレクトロニクスセンター事業費	334,291	334,291	0	
エレクトロニクスセンター管理運営事業費	79,177	79,177	0	
技術開発室支援事業費	48,061	48,061	0	
IT・イノベーション推進事業費	93,300	93,300	0	
IoT推進コンソーシアム事業費			0	令和5年度からIT・イノベーション推進事業に移行
中小企業DX推進事業費	48,850	48,850	0	
IT人材確保育成事業費	14,344	14,344	0	
IT技術活用実証事業費	2,000	2,000	0	
xR普及促進支援事業費			0	令和4年度で事業終了
ICT活用プラットフォーム関連事業費	20,820	20,820	0	
ICT活用プラットフォーム機能拡充事業費	13,417	13,417	0	
札幌市データ活用プラットフォーム構築事業費			0	令和4年度で事業終了
札幌テクノパーク・リノベーション推進事業費	14,322	14,322	0	
財団プロジェクト推進事業費	4,644	4,644	0	
財団プロジェクト推進事業費	4,644	4,644	0	
管理費	80,011	80,011	0	
財団管理費	12,648	12,648	0	
本部管理費	46,993	46,993	0	
市派遣職員人件費等	20,370	20,370	0	
経常費用計	1,056,449	918,913	137,536	
当期経常増減額	△ 17,283	△ 19,747	2,464	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 17,283	△ 19,747	2,464	
法人税・住民税及び事業税	70	70	0	
当期一般正味財産増減額	△ 17,353	△ 19,817	2,464	
一般正味財産期首残高	207,003	207,003	0	
一般正味財産期末残高	189,650	187,186	2,464	

(単位：千円)

事 業	法人会計配賦前			備 考
	補正後予算額	当初予算額	今回補正額	
	ア	イ	ア-イ	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産受取利息	0	0	0	
受取補助金等				
受取民間補助金	0	0	0	
一般正味財産への振替額	△ 27,739	△ 27,739	0	
当期指定正味財産増減額	△ 27,739	△ 27,739	0	
指定正味財産期首残高	108,310	108,310	0	
指定正味財産期末残高	80,571	80,571	0	
III 正味財産増減の部				
当期正味財産増減額	△ 45,092	△ 47,556	2,464	
正味財産期首残高	315,313	315,313	0	
正味財産期末残高	270,221	267,757	2,464	

【令和5年度 資金収支補正予算書（事業別対比）】 （法人会計配賦前）

（単位：千円）

項 目	収 入 ①	支 出 ②	収支差 ①－②
産業振興センター事業	567,638	570,476	△ 2,838
中小企業支援センター事業	67,430	67,027	403
エレクトロニクスセンター事業	327,895	306,552	21,343
財団プロジェクト推進事業	0	4,644	△ 4,644
管理費	44,994	77,963	△ 32,969
その他 （特定資産利息、雑収入、法人税等、他）	3,470	70	3,400
計（当期収支差額）	1,011,427	1,026,732	△ 15,305
前期繰越収支差額			165,447
次期繰越収支差額			150,142

- ・ 補助金収入は各事業の収入に含めて表している。
- ・ 受入保証金の収入、引当資産取得支出、引当資産取崩収入、返還支出は、収入と支出の額より収支差額に影響を与えないため、省略している。